

# 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施

国土交通省北陸地方整備局  
松本砂防事務所

～大規模災害に備え、関係機関と行動を確認・共有しました～

平成29年11月15日

近年、神城断層地震や熊本地震、九州北部豪雨等、大規模な土砂災害が頻発しています。  
このような大規模な土砂災害の発生状況をふまえ、松本砂防事務所では、関係機関が取るべき一連の対応を確認・共有し、危機管理体制の強化を図ることを目的とした合同防災訓練を、平成22年度から継続して実施しています。  
今年度は、大町市を対象とし、地震時に発生する土砂災害を想定した訓練を実施しました。

日 時：平成29年11月14日（火）13:00～17:00

場 所：長野県大町市 サンアルプス大町

参加機関：大町市、大町市社会福祉協議会、大町市消防団、大町市自主防災会連絡会、長野県、大町警察署、北アルプス広域消防本部、自衛隊、長野地方気象台、北陸地方整備局、松本砂防事務所、松本砂防スペシャルエンジニア

【解説者】国立研究開発法人 土木研究所

主任研究員 石井 靖雄氏

計72名

災害想定：大町市で最大震度6弱の地震が発生し、天然ダム（河道閉塞）の他、がけ崩れ等が同時多発的に発生。

地震から約2週間後に豪雨が発生し、さらに災害が起こる恐れが高まる。



訓練資料

天然ダム イメージ図(CG)



訓練実施状況

## 大町市長による講評

災害は刻々と事態が変化する中で絶えず即応していく必要があるため、各機関の対応を確認できる今回の防災訓練は非常に重要なものであった。

住民の方々の一番の願いは、これからも安全に暮らし続けたいということ。訓練に参加された皆様には、今後も地域のためお力添えいただきたい。



大町市長  
牛越徹氏